

保管方法

お手入れした後、完全に乾いたことを確認し、ホコリや湿気の少ない、直射日光の当たらない場所、高温にならない場所、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

商品仕様

品名	フレーバーストーン双子パン
サイズ	約縦43×横28×高さ5.5cm
表面加工	内面:フッ素樹脂塗膜加工 外面:シリコンポリエステル樹脂塗膜加工
材料の種類	本体:アルミニウム合金 取っ手:フェノール樹脂(耐熱温度:160℃) シリコンチューブ:シリコーンゴム(耐熱温度:230℃)
底厚	深い方:4.1mm 浅い方:2.2mm
生産国	中国

【発売元】

株式会社テレビショッピング研究所
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-25-7

【お問い合わせ】

カスタマーサービスセンター
フリーダイヤル:0120-024-242
受付時間 9:00 ~ 18:00 (祝日休み)

FS_FGP_WC_JPN_240926



フレーバーストーン双子パン 取扱説明書

直火用 家庭用

この度は両面焼きフライパン「フレーバーストーン双子パン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書をご使用前にお読みの上、正しくご使用ください。確認後は大切に保管してください。

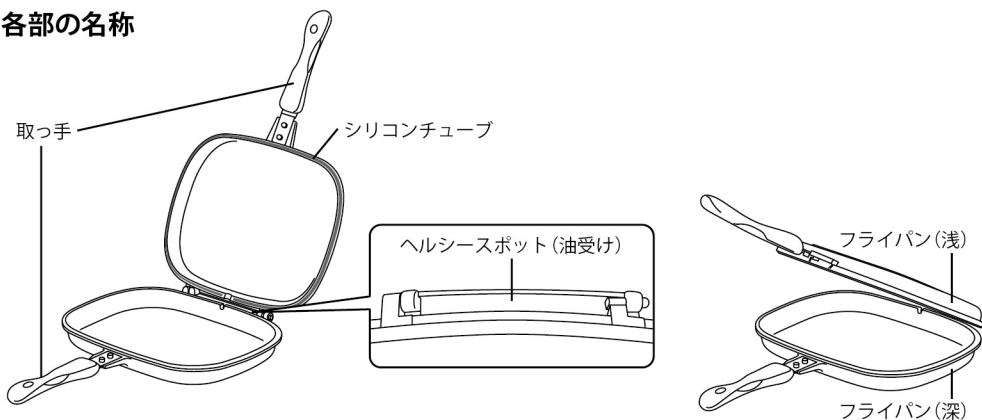
警告

- 絶対に空焚きをしない。予熱の場合は加熱時間を 30 秒以内にする。
火災・火傷・品質低下の恐れ
- 両面焼きで調理する場合は、油受け部分(ヘルシースポット)に流れた水分や油を乾いた布巾などで拭き取ってから返す。
火傷・怪我の恐れ
- 調理中、油受け部分(ヘルシースポット)の蒸気穴から蒸気が出るので手を近づけないように注意する。
火傷・怪我の恐れ
- 水分の多い料理の場合は、調理中、取っ手が熱くなる場合があるため、取っ手を持つ際はミトンやタオルを使用する。
火傷・怪我の恐れ

注意

- 本製品は家庭調理用のため業務用での使用はしない。
火傷の恐れ
- 中火以下で使用する。コンロの炎が底面よりも大きくならないように調節して調理をする。
火災・火傷・品質低下の恐れ
※調理の過程で一時的に強火にする必要がある場合は長時間でなければ問題ございません。
- 高い所から落下させるなど、強い衝撃を与えない。
怪我・破損の恐れ
- 塗膜の表面で調理の材料を刻んだりしない。
破損・品質低下の恐れ
- 調理物を長時間(一昼夜)放置しない。
品質低下の恐れ
- 浸け置き洗いはしない。
品質低下の恐れ
- 金属製のヘラは使用しない。
品質低下の恐れ
- 熱した本製品に冷水をかけるなど、急激な温度変化を与えない。
破損・変形・品質低下の恐れ
- 子供だけの使用及び子供の手の届く場所に保管しない。子供が使用する時は大人の監視のもと行う。
火傷・怪我の恐れ
- 安定した場所に置いて調理をする。
火傷・怪我・破損の恐れ
- ストーブの上、電子レンジ、オープンレンジでは使用しない。
火傷の恐れ
- 食洗機・食器乾燥機は使用しない。
品質低下の恐れ
- 取っ手が変色、ふくれ、焼け焦げ、ひび割れを起こした場合は使用しない。
火傷・怪我・破損の恐れ
- 2口以上のコンロで使用する場合、隣接するコンロの火が取っ手に当たらないように、取っ手の向きに注意する。
火傷・怪我・破損の恐れ
- 揚げ物の調理はしない。
火災・火傷の恐れ

各部の名称



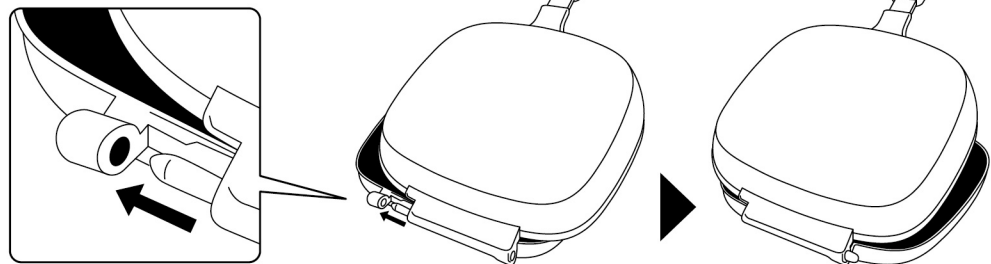
使用前の準備

柔らかいスポンジと中性洗剤で洗浄し、ぬるま湯ですすいでください。洗剤をよくすすいだ後は、布巾やキッチンペーパー等でしっかりと水分を拭き取りよく乾燥させてください。

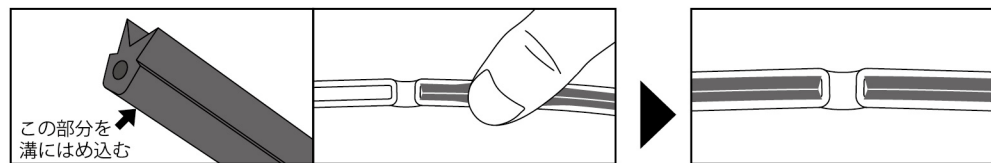
フライパンの取り付け・取り外しの方法

【簡単に脱着できます】

上下のフライパンを脱着する際は必ず平らな面に置いて、矢印の方向に水平に動かしてください。接合部が必ず両端とも適切にはまっていることをご確認ください。



シリコンチューブの取り付け方法



溝にフィットさせ、指で押し伸ばしながら、型に沿ってはめ込んでいってください。

端から端まではめ込んだら完成です。

使用上の注意

- 両面焼きフライパンとして使用して、且つ、開いたまま調理する場合は、上面のフライパンが倒れて指などを挟んで怪我しないように注意してください。
- ヘルシースポット (油受け) に油が溜まりやすい構造になっているので、都度油を拭き取るようにしてください。
- 両方のフライパンがしっかりとまっていることを確認してから、使用してください。
- 上下のフライパンの結合部や外面の塗装はご使用により剥がれてくることもありますが、ご使用上問題はありませので安心してお使いください。

使用上の注意 (シリコンチューブ)

- ゴムの特性上、過度に力を入れて押し伸ばしながらはめるとしっかり溝にフィットしない場合があります。加減を見ながら、溝にはまるように調節してください。
- 使用後に油が付いた状態や水滴が付いた状態で再度使用するとチューブが外れやすくなります。使用後は油気がないようにお手入れして、しっかりと乾いたことを確認してから再度はめ込み、使用してください。
- 万が一、調理中にシリコンチューブが外れた場合は一度火を止めて、ミトンなどをした状態でチューブを完全に外してください。
※チューブが外れた状態でも調理自体は可能ですので、そのまま続行ください。調理後に「お手入れ方法」に沿ってシリコンチューブを適切にお手入れし、再度はめてご使用ください。

お手入れ方法

<フライパン>

- お手入れの際は本体が冷めてから行ってください。
- お手入れには中性洗剤と柔らかいスポンジを使用し、スチールたわし、アルカリ性洗剤、クレンザー、磨き粉、漂白剤等を使用しないでください。洗浄後は水気を十分に拭き取り、加熱による乾燥は避けてください。
- 焦げ付き等を落とす際は金属製の固いものを使用しないでください。
- 使用とともに、調理面に特定の食品の色が残る場合がありますが、これらの変色により機能を損なうことはほとんどありません。変色を取り除くには、キズを付けないよう柔らかいスポンジに中性洗剤を付け、ゆっくりとやさしく擦ってぬるま湯ですすいでください。
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
- 浸け置き洗いはしないでください。取っ手のネジの腐食の原因となります。

<シリコンチューブ>

- お手入れの際は本体が冷めてから行ってください。
- お手入れには中性洗剤と柔らかいスポンジを使用し、スチールたわし、アルカリ性洗剤、クレンザー、磨き粉、漂白剤等を使用しないでください。洗浄後は水気を十分に拭き取り、加熱による乾燥は避けてください。
- 焦げ付き等を落とす際は金属製の固いものを使用しないでください。
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。